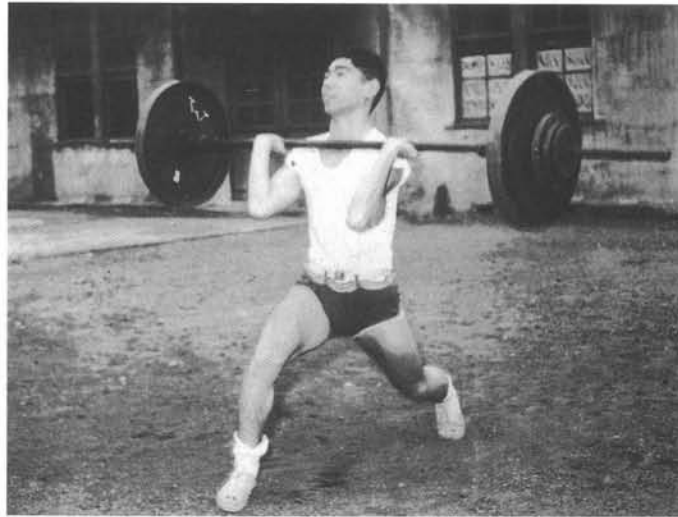


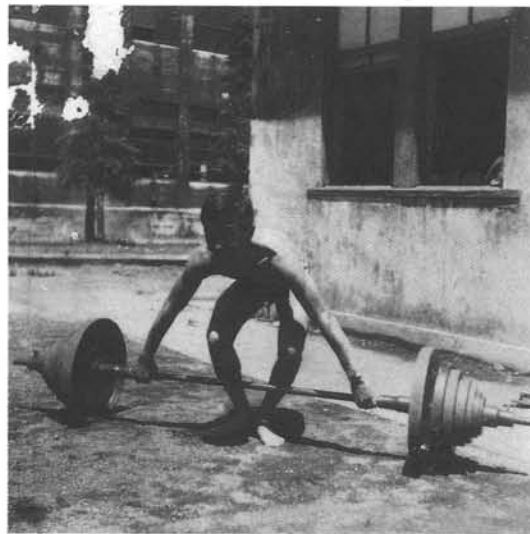
重量挙部



1975(昭和50年) インカレ。古川選手ジャーク132.5キログラムを見事クリーン。この後見事に差上げ成功。



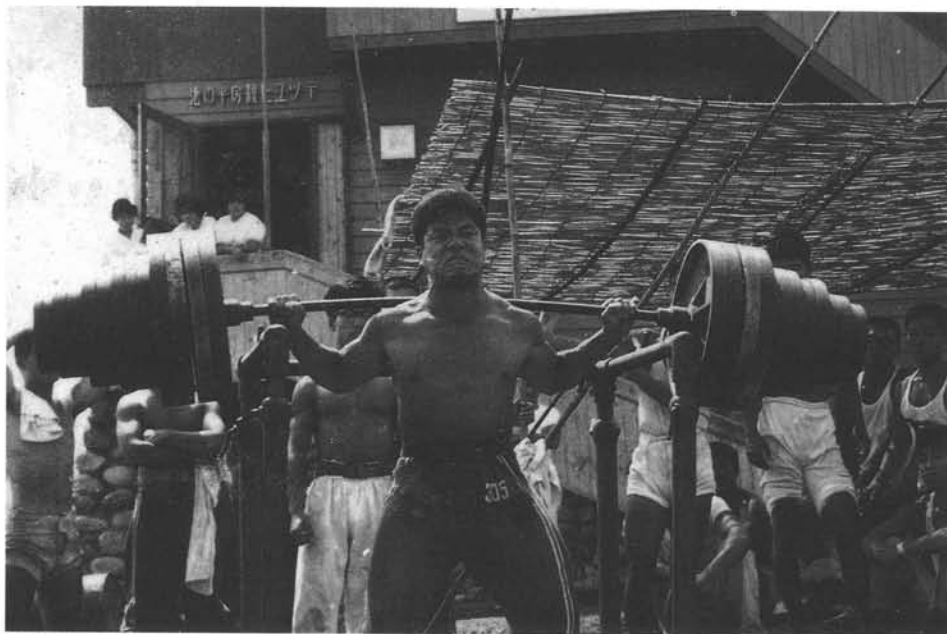
1948(昭和23年) 創部当時日吉高校横にての練習風景。



1948(昭和23年) 創部当時日吉高校横にての練習風景。



1958(昭和33年) 第4回全日本学生選手権大会にて丸山光英選手(34年卒)、プレス競技で110 kilogramsの日本新、またこの後の試技で112.5 kilogramsの日本新も樹立。



1961(昭和36年) 池の平での夏合宿の一コマ。望月キャプテン限界への挑戦。290キログラム。



若手選手の合宿風景。ハイクリーン110キログラムに挑戦、残念ながら失敗か。

1940 日本重量挙げ界の草分けである井口幸男に指導を受けた普通部生有志グループが心身の健全な発育を目的として、練習を行った。

1948・5 石井義晶、小西喜重、足立勉、大蔵朝彦、島田啓治らが中心となり、慶應義塾重量挙げ倶楽部を創立し、会長に松本信広を迎え、体育会塾内対抗競技部新種目団体に加盟。この年、神奈川県重量挙げ協会にも加盟。

1953・1 広門貞男(1952年文科卒)による重量挙げ部の部歌完成。

1954 慶應・法政・明治による3大学定期戦開始。

1955・11 第10回国民体育大会(神奈川)L・H級出場の石川雅康はトータル297.5キログラムの日本新記録で優勝。

1956 山形大との定期戦開始。

1957・11 早稲田大との定期戦開始。慶應37-25早稲田。M級出場の丸山はトータル300キログラムで日本タイ記録。出場者は山

田隆、谷藤忠平、田中善嗣、鈴木康正、大庭崇嗣、蒲谷政二、丸山光映、石川雅康。

1958・1 体育会へ加入。初代部長は松本信広。／6・22 第4回全日本大学対抗選手権大会M級出場の丸山光映はプレスで112.5キログラムの日本新記録を樹立。またMH級出場の石川雅康もトータル335キログラムの日本新記録で優勝。

1960・6 第6回全日本大学対抗選手権F級出場の山田隆はトータル272.5キログラムで優勝。／10 第15回国民体育大会(熊本)M級に出場の望月良三はトータル330キログラムで第3位に入賞。

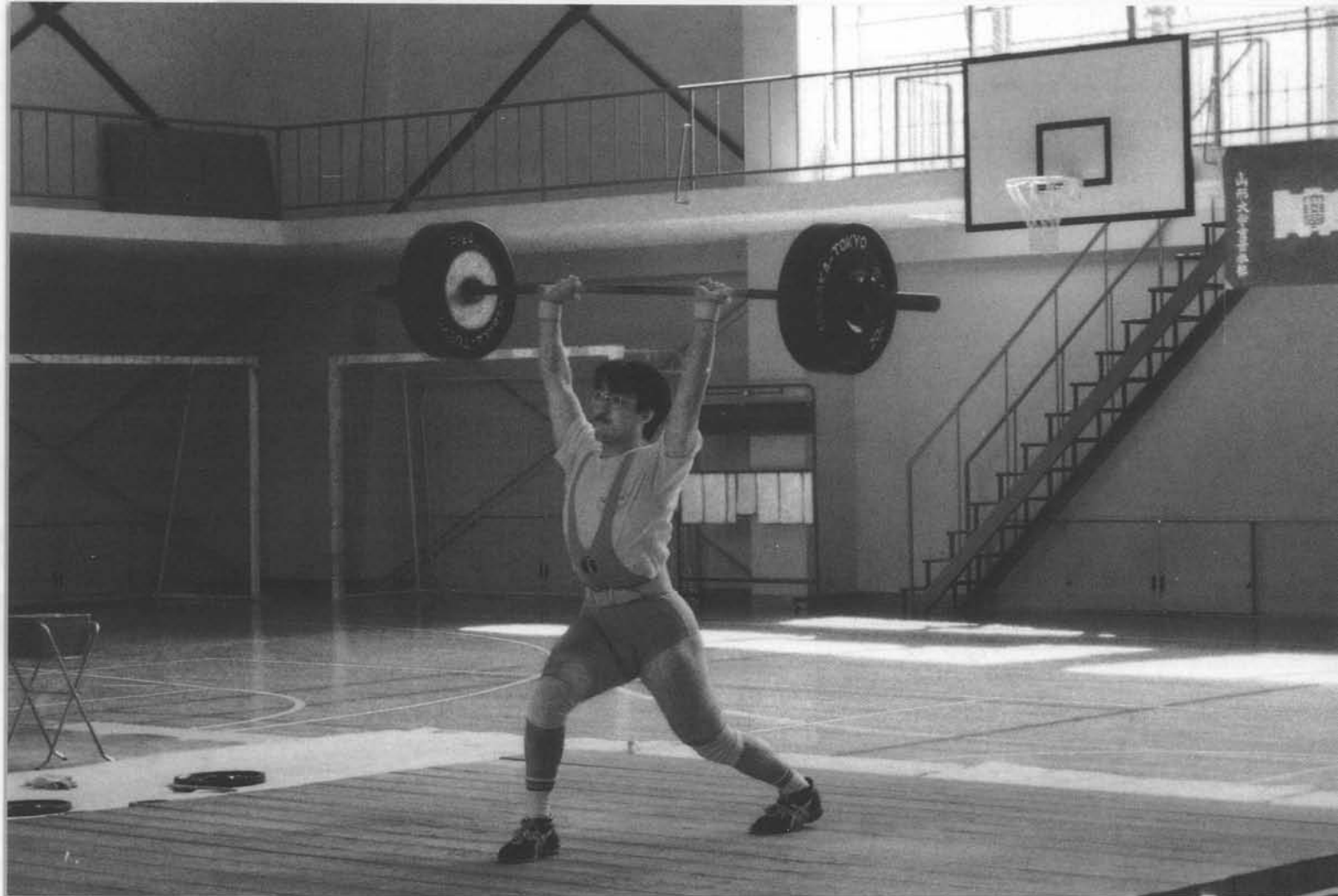
1961・6 重量挙げ部練習場竣工。日吉記念館地階に先輩の寄付により設置。／11・7 第7回全日本学生個人選手権大会F級出場の山田隆は、プレス・スナッチ・ジャーク・トータルの全てに日本新記録を樹立。トータル282.5キログラムで優勝。同大会3連勝を飾り、大

会最優秀選手にも選出された。

1962・6 第8回全日本大学対抗L級出場の棚橋健二はトータル350キログラムで優勝。

1963・7 第7回慶早定期戦、慶應39-38早稲田で慶早戦2勝目を飾る。／8 第7回全関東選手権大会F級出場の藤井尚雄はトータル247.5キログラムで優勝。L級出場の棚橋健二もトータル370キログラムで優勝。

1964・10 第18回東京オリンピック大会に井口幸男(慶應高校講師、当時重量挙げ部名誉顧問)が重量挙げ日本チーム監督として参加。金メダル1個を含む出場選手7名全員の6位以内入賞を果たす。井口幸男は1936年第1回全日本重量挙げ選手権フェザー級優勝以後、20年間記録保持。同年の第1回アジア大会同級3位ほか、内外の多く大会で好記録を残した。また、選手としてだけでなく、メルボルン・ローマ・東京・メキシコ・ミュンヘンの各オリンピックに監督或いは本部役員として参加す



1989(平成元年)・5・4 対山形第定期戦、奥山選手余裕の130キログラムジャーク成功。重量学とは、科学的鍛練によって効率よく自己の限界に近い重量を挙げる、その技を競うのである。自己の限界への挑戦、実に魅力的である。

1978(昭和53年) 創部30周年記念パーティー。いつまでも元気な我等が親父、井口幸男氏。



る等、日本重量学界に輝かしい足跡を残した。
1966・3 練習場改造工事完成。費用は先輩団体の寄付。／8 本年より夏合宿を山中湖で開始。

1967・12 新部長に宇尾野久を迎える。

1968・8 第12回全関東選手権大会H級に出場の志賀二男はトータル355キログラムで優勝。

1969・5 宇尾野部長急逝に伴い、新部長に太田俊太郎を迎える。

1970・8 第14回全関東選手権大会H級出場の横田慶一はトータル372.5キログラムで優勝。／11・15 第16回全日本学生個人選手権大会MH級出場の横田慶一は塾として初のトータル400キログラムを樹立。

1971・11 第1回全日本学生東西対抗戦H級出場の横田慶一はトータル415キログラムで優勝。

1973・4 本年よりプレスが廃止され、スナ

ッチ・ジャークの二種目となる。

1974・4 参加校の増加に伴い、全日本大学対抗選手権は1部～3部制が導入され、本塾は2部校となる。

1981・9 第5回東日本学生選手権52キログラム級出場の今井幸一はトータル170キ

ログラムで優勝。

1983・11 第29回全日本大学対抗選手権(2部)75キログラム級の武井澄男はトータル240キログラムで優勝。

1984・11 第30回全日本大学対抗選手権(2部)82.5キログラム級の成瀬功一はトータル247.5キログラムで優勝。

1985・11 新部長に小此木政夫を迎える。

1988・5 第34回全日本学生個人選手権110キログラム超級の安室敏はトータル235キログラムで第3位に入賞。／11 第34回全日本大学対抗選手権(2部)110キログラム超級の安室敏はトータル230キログラムで優勝。

1989・11 第35回全日本大学対抗選手権(2部)110キログラム超級の石田真也はトータル220キログラムで優勝。

1990・10 練習場改造工事完成。費用は先輩団体の寄付。